

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	防災事業	基本目標	危機管理体制の整備					
担当課(局)・係	総務課	生活安全係	記入者	川野和成	評価者	間 省二	開始年度	年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください							
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)						

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)		町民								
	意図・目的		災害時の住民の生命と財産の被害を最小化、応急対策、平常時の予防対策								
事業の内容	防災組織の活動の充実を図るため、避難訓練、消火訓練や講習会等を実施する。防災資器材については、コミュニティ助成事業や地域防災力向上促進事業費補助を活用する。災害時における避難所等での備品整備を年次的に行う。また、SOSネットワークシステムと帯同し、防災情報や啓発情報をメールにより配信する。										
主な支出項目	22年度決算額	2,311	千円	23年度予算額	5,801	千円	事業従事者数	H22 0.80	人	H23 0.50	人
	費用弁償	432	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	5,757			千円
	消耗品	315	千円	県支出金	332	千円	23年度人件費	3,569			千円
	委託料	309	千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		94.1	%	
	備品購入	80	千円	一般財源	5,457	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
	補助金	1,000	千円	その他	12	千円					
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input checked="" type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		地域防災力向上補助金					
	補助交付団体			自主防災組織		補助金要綱		高鍋町地域防災力向上補助金			
	22年度	補助額	1,000,000	円	補助の形態	国県補助	23年度補助額	1,000,000	円	終期	年度
		団体の決算額	1,010,073	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等						
		補助の割合	99.0	%							
		繰越額	0	円							

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 自主防災組織の育成	自主防災組織を育成・指導することで、初動体制の強化を図る。	
	2 災害時要援護者支援対策	災害時要援護者個別計画を作成し、災害の避難支援を行う。	
活動指標	3 防災関連事業の整備	ハザードマップ、情報伝達手段を整備し、町民に災害情報等を周知する。	
	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 自主防災組織の防災資器材の整備	補助金等活用した資器材の整備	
	2 出前講座、訓練の参加者	広報誌等を活用し、防災講習、防災訓練の参加を呼びかける	
3 要援護者個別計画の説明会の回数	福祉部局と連携し、公民館を通じて説明会を実施し、個別計画の普及を図る		

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度	
成果指標	自主防災組織の育成	目標値	2	2	2	
		実績値	1	0		
		達成率	%	50.0%	0.0%	
	災害時要援護者支援対策	目標値	人		100	200
		実績値			0	
		達成率	%	#DIV/0!	0.0%	
防災関連事業の整備	目標値	千円	600	1,767	1,183	
	実績値		712	1,663		
	達成率	%	118.7%	94.1%		
活動指標	自主防災組織の防災資器材の整備	目標値	千円	2,600	1,000	1,000
		実績値		2,600	1,000	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	出前講座、訓練の参加者	目標値	人	-	-	2,000
		実績値		-	-	
		達成率	%			
	要援護者個別計画の説明会の回数	目標値	回	-	-	10
		実績値		-	-	
		達成率	%			

事務事業名	防災事業	担当課(局)	総務課
-------	------	--------	-----

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	2	-
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1	-
合計(最高18点)		15	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益性 公平性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	-
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)		3	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	今回の東北大震災により、自主防災組織の必要性は再認識したであろう。災害は忘れたころにやってくる。防災無線もアナログからデジタルへ移行する。現在のアナログ無線は、難聴区域が多く、苦情が寄せられている。災害から、町民の安全を確保するため、今後ハードの整備が必要である。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充 <input type="radio"/>	現状維持 <input type="radio"/>	縮小 <input type="radio"/>

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎東北大震災等により、住民の関心も高い。ますます充実していかなければならない業務である。 ◎備えあれば憂いなしというぐらいなので、やればやっただけではあるが、反面やらなければやらなくてもという側面もあるので、事業自体は継続的に進めていく必要があると思われる。 ◎この機を逃さず事業の拡充、コストの拡充を図り防災面の強化を図ってもらいたい。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	